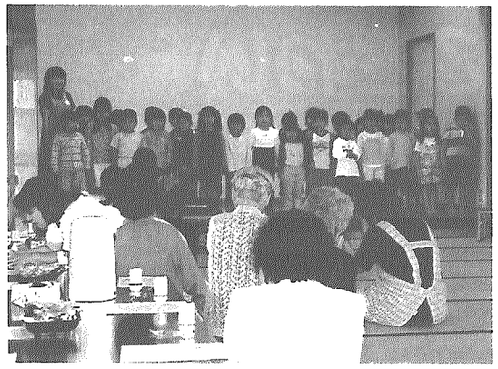
みんなで楽しいひとときを過ごしませんか
毎月第4月曜日は「地域のお茶の間」

毎月開催されている「地域のお茶の間」には、毎回多くの方々が参加しています。

高齢者が寝たきりや痴呆になる最大の原因は〝閉じこもり〟と言われています。無理なく体を動かし、みんなと楽しく、おしゃべりして笑って時間を過ごすという生活習慣が広まれば、寝たきりや痴呆が少なくなると言われています。そうした生きがいづくりのきっかけにと「地域のお茶の間」ができ、今年9月で満3年を迎えました。



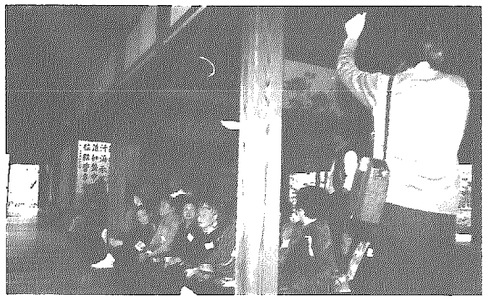
園児とお年寄りとの楽しい交流

9月29日、よこごしなかの保育園くじら組といるか組の園児28名が、老人福祉センターで開催されている「地域のお茶の間」を訪問し、楽しい交流のひとときを過ごしました。

参加者たちが楽しみに待つ会場に入ると、園児たちは大きな声であいさつし、元気いっぱいに歌と踊りを披露。その後運動会に向けて練習中のメロディオンを演奏しました。お年寄りをはじめ会場の全員が一緒になって手拍子を打ち、かわいらしくて一生懸命な園児たちの一挙一動に会場は笑い声であふれました。

最後に、園児たちから参加者へのプレゼントとして、「いつまでもお元気で」とメッセージが書かれた手作りの首飾りが掛けられ、お礼をうけた園児たちは、少し照れくさそうにしていました。

保育園の中野理事長から「機会があればこれからも交流の場を設けていきたい。またぜひ呼んで下さい」とあいさつ。交流会は幕をとじ、参加者たちは、名残惜しそうに手を振りながら会場をあとにする園児たちを見送っていました。



秋の遠足 北方文化博物館

10月28日、地域のお茶の間スタートして満3年になることを記念し、また、観光施設に足をのばして楽しんでもらおうと、北方文化博物館へ見学に訪れました。

約60名の参加者はボランティアとともに、館内の美術品や陶芸品などの貴重な展示物、大広間や庭園などを興味深そうに見て回り、感嘆の声をあげていました。

その後、長いもをすったところろ、焼き鮭や煮物などおいしい昼食に舌鼓を打ちながら、今回の遠足の感想や世間話などに花を咲かせました。参加者の一人は「今回初めて参加しました。立派な建物に驚いています。大変よかったです」と感想を述べていました。

地域のお茶の間では、このほかにも、地元サークルにより民謡や歌、中学生から演奏を披露してもらったり、教育長や校長などから教育や社会のお話などを聞いたりして、楽しく過ごしています。

お昼には、ボランティアの手作りによるおいしい昼食をいただくことができます。

毎回約40名の方が、自宅から歩いたり、自転車や送迎用の社協のマイクロバスなどで会場に通っています。

地域のお茶の間については、老人福祉センターまたは地域の民生委員にお尋ね下さい。また、お手伝いをしていただけるボランティアも募集しています。

どなたでも自由に参加できます

◆日　時　毎月第4月曜日（月曜が祝日の場合は、翌日の火曜日）

午前10時～午後2時頃
出入りは自由です。

◆会　場
町老人福祉センター
☎385―4321

◆参加費　100円
昼食代込みの場合は300円

各地域でも地域のお茶の間を開催しています

◎木津地域

◆日　時　奇数月の11日
午前10時～午後1時頃

◆会　場　木津農業構造改善センター

◆参加費　500円（昼食代込み）

◎二本木地域
寿会「茶の間の集い」

◆日　時　毎月第3金曜日

◆会　場　二本木地区コミュニティセンター

◆参加費　300円　（おやつ・軽食代等）

◎川根町・茜ケ丘地域
地域のお茶の間「いきいきサロン川根谷内」

◆日　時　毎月第2木曜日

◆会　場　ケアマネージメントセンター（川根町4丁目）

◆参加費　100円（おやつ代）

まだまだ現役　皆さんのお役に！
シルバー人材センターで元気に活動

11月11日、町シルバー人材センターの主催により、高齢者を対象とした冬囲い講習会が、老人福祉センターで開催されました。

この講習会は、会員たちの技術・知識の向上を目的に毎年この時期に行われているものです。

約60名の参加者たちは、縄の結び方や竹の切り方などを練習した後、老人福祉センターの中庭に植えられている松の木を題材に、水原町シルバー人材センターで冬囲いを指導している山口さんから指導を受けながら、熱心に冬囲いを実践しました。

シルバー人材センターでは、冬囲いだけでなく、庭木のせん定、ふすまや障子張り替えなどの依頼が増えており、しっかりした技術で喜ばれる仕事をするため、様々な講習会を開催して技術を磨いています。

◆仕事の依頼・問い合わせ
横越町シルバー人材センター（サンウィング横越内）
☎385―5211

シルバーの日に町内で奉仕活動

町シルバー人材センターでは、今年から10月20日を「横越シルバーの日」と定めました。シルバー事業のアピールと日頃お世話になっているお礼を目的に、公共施設や地域に対し、美化活動や会員の特技を活かした活動を行おうと、全国のシルバー人材センターで今年から始められたものです。

町内では、10月20日を中心に、地区ごとの支部単位で、シルバー会員がボランティア活動を実施。横越支部は新田地区コミュニティセンターの掃除と障子張り替え、川根町は横越農村公園の草取り、沢海は阿賀野川床固め公園の草取り、木津は工業団地内の側溝掃除、二本木はことぶき公園の草取り、小杉は小杉保育園前道路の草取り、藤山・駒込・うぐいすタウンはけやき通りの草取りを行いました。

施設見学と意見交換
障害者福祉を考える交流会

三市中蒲地区手をつなぐ育成会連絡協議会の主催により、11月11日、約50人が参加して交流会が開催されました。

障害を持つ子どもたちの家族が集まり、福祉について考えようと毎年開催されており、当町での開催は今回が初めて。

視覚重複障害者施設「のぎくの家」と生活支援ホーム「こぶしの里」の見学の後、町老人福祉センターで意見交換を行い、各市町村の作業所での仕事内容や作業時間、賃金、生活問題といった内容について話し合いました。

短歌（公募作品）

綿雲のすき間の空をジェット機は爆音ひびかせ突きぬけてゆく　新潟市　青木　彬樹

苦労して書いた絵という娘の言い分大きなかぶを印象付けて　新潟市　村山　朱美

ひたすらに育くむ母のふところの愛と教えの深さを覚ゆ　上　町　中村チヨイ

年老いて話し相手は妻とのみ語らい続く過ぎたることを　沢　海　伊藤　吉作

雨の中六時集合の缶ひろい始発のバスの燈りまぶしき　沢　海　田辺タケノ

百姓の子に生れ来し我なれば幼なき頃より農を手伝う　沢　海　藤田千代美

ゆり籠を唄う私に寄り添いて曾孫は何時しか眠りて居たり　沢　海　清水　雅美

車窓より見る咲花の阿賀野川山のもみじ葉川面に映える　沢　海　渋谷　ウタ

煙草止め三年経ちし今もなほ煙草の匂ひがうまい雨の日　木　津　坪谷　雅博

今日果つる命もあらむじんじんと樹々をめぐりて啼く油蟬　木　津　保科　蘭山

ご門首をお向い待ちし松韻寺到着合図の鐘の音ひゞく　小　杉　小田トキイ

炎え尽きてゆくべき運命の陽の中にさるすべりの花夕陽に染まる　小　杉　中川マツノ

争いの戦国の世に生まれたり作物取りて身を満たしきぬ　小　杉　宅宣　道夫

コンバインに刈り取る稲田せばまりて慌てる蝗（いなご）の羽が輝く　藤　山　田村　文彦